Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

安楽寺の紅葉

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2018年11月13日　17号
2018年11月6日　第1例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．国歌斉唱（君が代）
3．ロータリーソング斉唱
　（奉仕の理想）
4．来賓紹介　稲野邉会長
　ご来訪ロータリアンの紹介
5．米山記念奨学生紹介
6．米山記念奨学金授与　稲野邉会長
7．会長挨拶　稲野邉会長
8．幹事報告　高 野 幹 事
9．お誕生日の会員及びご夫人の紹介
　親睦活動委員会
10．委員会報告
11．ニコニコボックス発表　塚崎副ＳＡＡ
12．出席状況報告　出席委員会
13．ロータリー財団出前卓話
　地区ロータリー財団委員　地区補助金担当
　髙橋信子様
14．点　　鐘　稲野邉会長
15．ロータリーソング斉唱

（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
ボーイスカウト土浦育成会連合会 事務局長 鈴木君枝様より活動報告を伺います。

次週のプログラム
11月20日(火)の例会は，「水素水について」㈱日本トリム大宮営業所 DS 事業部係長 松下智英様によります来賓卓話でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	77	8	83.70	1・2・4	5・8・9	4	88.04

【ご来賓紹介】

稲 野 邉　　穰　会長

本日は，お客様が多数お見えになっておりますのでご紹介いたします。
ロータリー財団地区補助金担当委員の髙橋信子様です。
2011-12 年度ロータリー財団 国際親善奨学生の高部悠さん，カウンセラーは鈴木明夫会員です。
高部さん勤務先の社長の友人でメキシコからお越しになった CLUB ROTARIO IRAPUATO A.C のロータリアン Ing.Luis Gullermo Carreño Ramos さんです。

【ご来訪ロータリアン挨拶】

Ing.Luis Gullermo Carreño Ramos　さん
（スペイン語通訳　高部悠さん）

今日は歓迎して頂きありがとうございます。また，メキシコと日本の扉を開けて頂き，誠にありがとうございます。メキシコの中心にある IRAPUATO というところから来ました。クラブでは，ロータリーで青年の親善交換をするような部署に所属しております。IRAPUATO クラブのメンバーも私がこちらに伺っていることを嬉しく思っております。ロータリーのつながりで 100 万人もの方々と交流が出来ることを実感し，嬉しく思っております。改めて，本日お迎え頂いたことを感謝いたします。メキシコにいらっしゃるときには IRAPUATO のロータリークラブへ是非お越しください。

【米山記念奨学生紹介】

【会長挨拶】

稲 野 邉　　穰　会長

皆様こんにちは。
今年は 11 月に入りましても小春日和の穏やかな日が続いております。
先月の米山月間では，米山記念奨学会の特別寄付に皆様のご協力を頂き 206 万円・目標の

111％に達することが出来ました。改めて感謝いたします。ありがとうございました。
本日お出で頂いております高部悠さんはロータリー財団の奨学生ですが，皆様のご協力により立派な姿を拝見することが出来嬉しく思います。これからの活躍を大いに期待しています。楽しみですね。
さて，先週行われました第6分区親睦ゴルフ大会ですが，当クラブが上位を占めました。5位に金山会員，3位にわたくし稲野邉，2位に吉田会員，ここまでくると優勝もとなりますが，さすがにそこまで独占してしまうと他のクラブに申し訳ないので来年のお楽しみとして遠慮致しました。参加された会員の皆様，一日ご苦労様でした。
昨日，環境保全委員会において地区補助金を利用して霞ヶ浦体育館にデジタル時計を寄贈致しました。昨日は休館日でしたが，館長に案内して頂き設置してまいりましたので，体育館に足を運んだ際には新しいデジタル時計を是非見て来て下さい。取付工事は大山会員にお願い致しました。ありがとうございました。
そして今月は「ロータリー財団月間」になっております。クラブ目標は，年次寄付が150ドル，ポリオプラス寄付が20ドルとなっておりますので皆様のご協力をお願いいたします。本日の卓話で髙橋委員長より詳しい説明があると思います。
会員の皆様にはいろいろと頑張って頂いておりまして，改めて感謝申し上げます。
以上，11月の挨拶とさせて頂きます。

追加報告ですが，創立55周年実行委員長ですが，稲本会員に決定致しました。

【創立55周年 稲本実行委員長挨拶】

約1か月前，清野年度副会長選考会で55周年実行委員長を仰せつかりました。再来年の春頃になると思いますが，これから実行委員会を組織してまいりますので，是非とも皆様のご協力をお願いいたします。

【委員会報告】

ロータリー財団委員会　　完　賀　浩　光　委員長

11月はロータリー財団月間です。各卓上に寄付金申込書がありますのでご協力を宜しくお願い致します。後ほど説明があると思いますがロータリー財団事業は数ある事業の中でも最もロータリーらしいグローバルな取り組みでございますので宜しくお願い致します。
なお，本日の卓話は地区財団委員会の髙橋ロータリー財団地区補助金担当委員による出前卓話となっておりますので，こちらもご清聴のほどお願い致します。

ローターアクト委員会　　木　村　英　明　委員長

ローターアクト11月第二例会についてお知らせします。八島会員にご協力を頂きまして「蓮根堀り体験」を開催致します。11月10日(土)ですので，興味のある方はご連絡頂ければメンバーに加えさせて頂きますので宜しくお願い致します。

【ロータリー財団出前卓話】

地区ロータリー財団・地区補助金担当
髙　橋　信　子　様

ロータリー財団は1917年のアーチ．Ｃ．クランフの提唱により創設されました。我々ロータリアンが社会に奉仕するための財源を我々自身の手で集めるためです。そしてロータリー財団の標語「世界で良いことをしよう」を実践するために，ロータリー財団には集めた資金を利用するための２つの代表的な補助金があります。

１つは地区補助金（ＤＧ），もう一つはグローバル補助金（ＧＧ）です。

ＤＧはクラブの皆様で比較的自由に使える補助金です。ロータリーには６つの重点支援分野（平和と紛争予防／紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展）がありますが，地区補助金はこの重点分野に制約されずに使えます。2820地区の地区補助金参加率は全国トップクラスです。

一方，ＧＧは国際的で大規模なプロジェクトに利用できる補助金で，重点分野に関連する内容である必要があります。ＧＧはＶＴＴ（職業研修チーム），奨学金にも利用されます。ＧＧも当地区では積極的に利用されています。「我々が拠出した寄付金を我々の手で奉仕に役立てる」当地区はこれを実践していると言えます。

ＧＧは保健分野に多く利用されています。国連のデータによれば，保健や教育の水準が１人当たりＧＤＰと高い相関関係にあることが証明されています。すなわち保健や教育の向上がひいては経済的な豊かさにつながるということです。

また，ＧＧが紛争解決に目覚ましい貢献をした例もあります。元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんや現在国連・軍縮担当事務次長の中満泉さんは，ＧＧの奨学金を利用して学んでいます。この２人はボスニアヘルツェゴビナの和平に大きな尽力をしています。なお，当地区にはＧＧの奨学金の他，新井義三・喜美子奨学金基金という冠名基金があります。これは６つの重点分野に限定しない奨学金で，現在６万ドル程度が利用可能です。

平和の分野ではロータリー平和フェローシッププログラムという人材育成プログラムもあります。平和と紛争解決に国際的に活躍する人材を育てることにも，ロータリー財団は貢献しています。

ロータリー財団のもう一つの重要なプログラムとして「ポリオプラス」があります。1980年にロータリーが初めて提唱してから38年。当時はほぼ全世界に蔓延していたポリオが，現在の発生は２か国のみとなっており，撲滅まであと少しです。疫病の撲滅により保健の予算が別のものに振り向けられれば，家庭・地域社会・国家経済はより強固になり発展していくことが可能になります。ポリオプラスは重要なプログラムなのです。

このように世界で良いことをするために役立っている我々の財団資金ですが，利用するには一定の手続きが必要です。皆様が身近で利用して下さっているＤＧは，申請年度と実施年度の２年がかりのプロジェクトになります。地区で一括して申請や報告を行いますので，各クラブの足並みが揃うよう，申請から報告までの期限をしっかりと守ってクラブ一体となってプロジェクトを実施していただきたいと思います。

グローバル補助金は今年度から事前調査が義務付けられています。国際奉仕委員会と十分に調整の上，ご利用いただきたいと思います。

さて，我々の拠出する寄付金は，財団にてしっかりと運用されたのち，３年後に我々の手で使える資金として戻ってきます。ちなみに３年前に当地区で集まった28万５千ドルの年次寄付金は，本年度33万ドル以上の利用可能額となっています。当年度の目標寄付額は会員一人当たり・年次寄付130ドル以上，ポリオ20ドル以上，合計150ドル以上となっています。確実に世界で良いことに繋がっているロータリー財団の寄付とプログラムに，是非参加してください。

THE ROTARY FOUNDATION: DOING GOOD IN THE WORLD

国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会

ロータリー財団の産声　（ロータリー基金の誕生:1917年）

アーチ C.クランフのビジョン

諸々の社会奉仕を
今まで通りに実行していくには、
慈善・教育・そのほかの
社会奉仕の分野において
世界でよいことをするための
基金を作るのが、
極めて適切であると思われる。

-アーチ C.クランフ-

ロータリー国際連合会会長(クリーブランドRC)
1917年アトランタ国際大会にて

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の標語「世界でよいことをしよう」とは？

ロータリアンが
人々の健康状態を改善し
教育への支援を高め
貧困を救済することを通じて
世界理解、親善、平和を
達成できるようにすること

これが財団の使命であります（ロータリー財団章典1.030）
これらを達成するために2つの補助金があります。

世界でよいことをするための２つの補助金

地区補助金 ３つのプログラム	グローバル補助金 ３つのプログラム
奉仕プロジェクト 高橋年度 適合事業費の約35%を補助 （原則、上限$2,000）	人道的プロジェクト
奨学金 高橋年度はGGで対応	奨学金
VTT （職業研修チーム） 高橋年度はGGで対応	VTT （職業研修チーム）

① 地区補助金

- 皆様のクラブで、或いは他のクラブと共同で比較的自由に使える補助金です 。
- 地元や海外の奉仕活動に使用できます。
- この活動は比較的小規模・短期なものとなり、6つの重点分野の枠に制約されません。

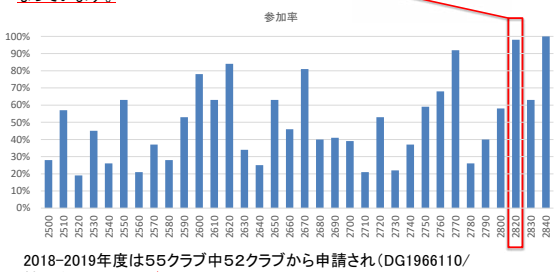
水戸RC　障碍児へ食事提供

2820地区　ネパール大震災緊急支援

下館RC 小貝川環境保全活動

地区補助金クラブの参加率

2017-2018年度・当地区の参加率は55クラブ中54クラブ（98%）となっています。



2018-2019年度は55クラブ中52クラブから申請され（DG1966110/補助金合計81,882ドル）、承認されています。

② グローバル補助金

人道的プロジェクト

VTT（職業研修チーム）

奨学金
2820地区高橋年度は2名の奨学生

大規模（補助額3万ドル以上）な国際的プロジェクトに活用します。
6つの重点分野に関連した持続可能かつ測定可能な成果をもたらす人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム（VTT）に使用できます。

Global Grant 地区別・活動別集計

地区	人道	奨学	VTT	合計	2010年～	地区	人道	奨学	VTT	合計	2010年～
2500	2	1		3	17	2680	1	1	1	3	20
2510				0	5	2690				0	3
2520				0	8	2700	1	1		2	7
2530	1			1	5	2710	2	2		4	17
2550	2			2	5	2720		1		1	5
2560	2			2	10	2730	2			2	4
2570		2		2	9	2740				0	5
2580	1	2		3	22	2750	4	4		8	45
2590		3		3	17	2760	5	2	1	8	31
2600				0	2	2770		2		2	32
2610	1	1		2	8	2780	2	4		6	20
2620	1	1		2	12	2790	1	1		2	12
2630	2	1		3	5	**2820**	**6**	**2**		**8**	**25**
2640		1		1	2	2830	2	1		3	10
2650	6	2		8	30	2840	2	1		3	11
2660	5	1	1	7	38	合計	**53**	**38**	**5**	**96**	**452**
2670	1	1	2	4	8	全世界	**1061**	**197**	**44**	**1302**	

（2018年6月末現在）

ロータリー6つの重点分野

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

(RI, 2017)

Global Grant 分野別・活動集計（2017-2018年度）

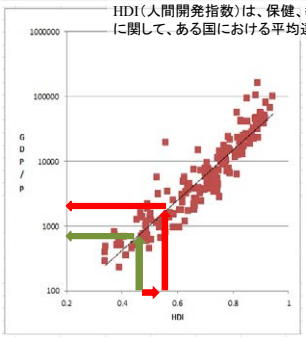
6つの重点分野	人道的	奨学金	VTT	合計
基本的教育と識字率向上	8	8		16
疾病予防と治療	24	12	4	40
経済と地域社会の発展	3	12	1	16
母子の健康	1	2		3
平和と紛争予防		4		4
水と衛生	17			17
合計	53	38	5	96

（2018年6月現在）

奨学金は保健及び経済を学ぶ学生への支援が多く
人道支援の多くは保健の分野

教育と保健分野への支援がいかに有効か？

HDI（人間開発指数）は、保健、教育、所得という人間開発の3つの側面に関して、ある国における平均達成度を測るための簡便な指標です。



(UNDATA, 2016)

Human Development Index (HDI)

$$= \sqrt[3]{\text{Health} \times \text{Education} \times \text{Income}}$$

↓ 保健　↓ 教育　↓ 収入

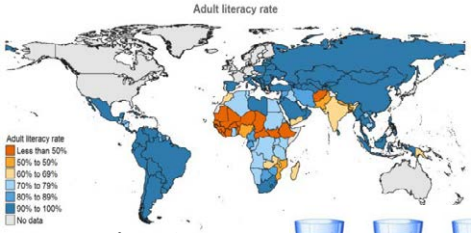
例えばネパールのHDIは今0.49です。子ども達が皆中学校を卒業できるようになるとHDIは0.56になります。すると経済力は現在の5倍以上になると試算されます。

だから、ロータリーは長年教育や保健の支援を続けてきたのです。

基本的教育レベルや識字率の向上がいかに必要か？

世界の（成人）識字率

出典：UNESCO Institute for Statistics Fact Sheets "Adult and Youth Literacy"、September 2015



どのコップに薬が入っているか分かりますか？

薬だと思い子供に農薬を飲ませてしまうこともあります

GGによる教育・保健分野の活動

紛争解決に寄与したロータリー奨学生

精方貞子氏
ジョージタウン大学（東京RC）

国連日本政府代表部公使
UNHCR
国連難民高等弁務官
人間の安全保障委員会初代共同議長

中満　泉氏
ジョージタウン大学（厚木RC）

UNHCR
UNDP
国連・軍縮担当事務次長
（国連NO.2）

(財団100周年講演会、2016)

当地区で利用できる冠名基金

冠名基金とは...
寄付者または特定の方のお名前のついた基金です。元金はそのままで、投資収益の一部のみが寄付者が指定したプログラムに恒久的に活用できるものです。

基金名　：新井義三（元水戸西RC）
・喜美子奨学金基金

基金番号　：E10558

利用可能額：$60,806.58-
（2017-18年度末時点、元本は約15万ドル）

支援内容　：第2820地区が提唱する奨学金
（科学・芸術などロータリーの6つの重点分野フィットしない専攻にも利用可能です）

ロータリー平和フェローシッププログラム

ロータリー平和フェローシッププログラムの目的

ロータリー平和フェローシップは、**平和と紛争解決の分野で国際的に活躍する人材を育成する**ことを目的として、国際ロータリーが提供する奨学金プログラムです。（RI）

毎年　最高100名の平和フェローを選出

修士号プログラム
- 若いプロフェッショナルが対象
- 毎年、最高50名（各センターで10名ずつ）
- 15～24カ月間

専門修了証プログラム
- 経験豊かなプロフェッショナルが対象
- 毎年、最高50名（年2回のセッションで、それぞれ25名ずつ）
- 3カ月間

もうひとつの財団プログラム -ポリオプラス-

1980年
ロータリーの規定審議会で
「予防接種によってポリオを撲滅する」
という立法案を承認　ロータリーが世界で初めて提唱

1985年
RIがポリオプラスを開始（国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模）

2009年
ビル＆メリンダ・ゲイツ財団との協力開始

2018年
~ This close ~あと少し~

国	2018/1/1～9/18	2017	2018
パキスタン	4	8	20
アフガニスタン	14	14	13
ナイジェリア	0	0	4
合計	18	22	37

ポリオ撲滅を達成すると

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される（ロータリー章典40.010.）

地区補助金活用について

- **クラブでの準備**：地区補助金プロジェクトは「計画年度（高橋年度）」と「実施年度（中村年度）」の**2年がかりのプログラムです。**関係者間の早目の申し送りや理事会での承認をお願いします。
- **補助金管理セミナー**：2019年3月に実施する**資金管理セミナー**への出席並びにMOUの取得が申請の条件です。
- **計画書の提出**：2019-20年度（中村年度）に地区補助金を使用し　て、国内外でプロジェクトを計画しているクラブは、**2019年4月30日**までに、その計画を地区に提出してください。
- **TRFへの提出**：地区はとりまとめて**2019年05月31日**までに財団（TRF）に提出します。

承認・実施 → **プロジェクト終了後1カ月以内、遅くとも2019年5月31日迄**に「個別プロジェクト報告書」をプロジェクト実施年度の地区ガバナー事務所へ提出

グローバル補助金の申請手続き

人道支援　奨学金　VTT

クラブ 地区　**申請者** クラブ（学生）・地区　クラブ 地区

↓

受付窓口（ガバナー事務所）　CC

国際奉仕委員会が内容審査
人道　：事業内容審査
奨学金：学生面接・論文審査
　　支援クラブ探し
VTT　：事業内容審査

財団委員会が申請書の審査
申請者・国際奉仕委員会からの申請書を審査
（授与と受諾の条件に適合するよう申請者・国際奉仕委員会を指導）

↓

TRFへ申請

シェアシステム　（寄付金の流れ）

3年前（2015-2016年度）
年次基金寄付
$285,920（2820地区合計）
※各人・各層からの寄付金

当年度（2018-2019年度）

ＷＦ（国際財団活動資金）
$142,960＋運用益$22,179
※TRF（ロータリー財団）管理

DDF（地区財団活動資金）
$142,960＋運用益$22,179
＋前年繰越 $77,984＝$243,123
※地区が管理

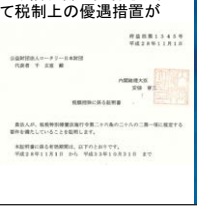
地区補助金（DG）$81,882
地域でよいことをしよう

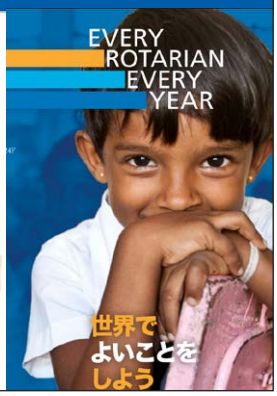
グローバル補助金（GG）
DDF＋WF(D同額、C半額)
世界でよいことしよう

11月・ロータリー財団月間

「決議23－34号議案」第4条には、「ロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく実践哲学であること、奉仕するものは行動しなければならない」と記述されています。

ロータリー日本財団（公益財団法人ロータリー日本財団）より領収書が発行され、確定申告において税制上の優遇措置が受けられます。
12月前半までの寄付は、当年分の確定申告に算入可能です。





「世界でよいことをするための財源」

①年次基金寄付
今日を支える

②恒久基金寄付
明日のために

③使途指定寄付
ポリオ撲滅 など

↓

プロジェクト実施
補助金プログラム（地区補助金、グローバル補助金）、その他

ポリオプラスなど

自分だけでなく、人のためによいことをする喜びのために私たちは生きるべきです

（アーチ C・クランフ、1929年）